Unit 10

Dialog 概要

pp.60-61

* ヨシカズとデヴィッドは朝食をまだ取っていないということでパンプキン・ドーナッツ（ファーストフード店）へ向かった。
* デヴィッドはパンプキン・ドーナッツ，バーガー・プリンス，トゥーウェイズなどのアメリカ式ファーストフードやサンドウィッチ店が，かつてはたくさんあったのに最近ではあまり見られなくなったと言う。その数は減ってきており，数年前に撤退したものもあるのだ。
* ヨシカズは日本にはアメリカのサンドウィッチに当たるおにぎりというファーストフードがあると言う。とても安くコンビニで1個わずか150円で買えるし，家で手で作ることもできるが，食べ応えがあるので2個もあれば十分だ。かっこいいアメリカのサンドウィッチはマクドウェルハンバーガーを除けばもっと値段が高いし，多くの日本人にとってはかなり油っこいと感じるんじゃないか，と彼は言う。
* デヴィッドはヨシカズの言っていることはよくわかるが，人の好みは様々だからね，と言う。問題なのは価格競争が激しいからだと言い，なぜおにぎりはそんなに安くできるのか，と聞く。
* ヨシカズは日本のコンビニ業界は巨大で，コンビニ店のためにおにぎりを作る大きな工場がたくさんあるのだと言う。そこでは，おにぎりに充てんする機械，形作る機械，包装する機械と，各処理過程で特定の目的の為に別々の機械が使われており，使用は複雑でないのでとても速く多数のおにぎりを作ることが可能なのだ。大量生産の効率的な方法であり，食品を媒介するバクテリアに汚染されるリスクも減らすのにも役立っていると言う。
* デヴィッドは納得するが，多少高価でも自分は機械で加工されていないものを食べたいと思っている。

Part 1概要

* ヨシカズとデヴィッドは朝食のためパンプキン・ドーナッツに向かった。行く途中でデヴィッドはヨシカズになぜアメリカ式ファーストフードやサンドウィッチ店が日本で減ってきているのかについて，また，なぜそれほど価格が安くできるのかを尋ねる。

Part 2概要

* ヨシカズとデヴィッドは朝食のためパンプキン・ドーナッツに向かった。行く途中でデヴィッドはヨシカズになぜアメリカ式ファーストフードやサンドウィッチ店が日本で減ってきているのかについて尋ねる。
* ヨシカズは日本では安くてしつこくないおにぎりのような日本のファーストフードを選ぶ傾向が強いと言う。
* デヴィッドがなぜそれほど価格が安くできるのかと聞くと，ヨシカズはとても速く多数のおにぎりを作ることができるからだと答える。

Part 3概要

* ヨシカズとデヴィッドは朝食のためパンプキン・ドーナッツに向かった。行く途中でデヴィッドはヨシカズになぜアメリカ式ファーストフードやサンドウィッチ店が日本で減ってきているのかについて尋ねる。
* ヨシカズは日本では安くて食べ応えのあるおにぎりのような日本のファーストフードを選ぶ傾向が強いと言う。
* デヴィッドがなぜそれほど価格が安くできるのかと聞くと，ヨシカズは各処理過程で複数の機械を使ってとても速く作ることができるからだと答える。食品を媒介するバクテリアに汚染されるリスクも減らすのにもうまくいっていると言う。